

# 中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第8号  
令和2年11月2日発行

## 学校教育目標

「なかよく かしこく たくましく」

### 三つの約束

- あいさつ
- 整理整頓
- 時間を守る

1年生	41名	4年生	42名
2年生	42名	5年生	57名
3年生	52名	6年生	60名
児童数		5組	6名
全校児童数	300名		

## 中富らしさ、ふるさと学習はじまる 校長 仲田 智宏

朝休み、業間休み、昼休み、長い休み時間には常に楽器を奏でる音が聞こえてきます。文化の秋を迎えました。最近はずっかり秋めき、朝晩は寒いくらいですが、過ごしやすい気候をありがたく思います。新聞によると今年は台風の上陸がなかったとのことで、こちらもありがたいことでした。気候の変化には波がありますから、冬には大雪かもしれません、とにかく今は、秋を満喫できればと思います。

さて学校では、中富小の伝統というべき「ふるさと学習」が再開しました。サトイモ畑の見学では、土の中でどのようにサトイモが育つか見せていただきました。地域の方の協力で行っている陸稲づくりとサツマイモづくりは、実りの秋を迎え、収穫を体験させていただきました。室内での活動は制限が多いので、屋外で伸び伸びと体験活動をさせていただけることに感謝いたしております。マスクをしていますので口元は見えませんが、目を見ればわかります。みんな満面の笑みです。

多聞院・多福寺の見学に行かせていただきました。今年は遠足や社会科見学が実施できていませので、貴重な体験学習となりました。例年は、ご住職様に説明をしていただくのですが、まだ集会には制限がありますので見学となりました。境内の静かで落ち着く感じは、子ども達にはどのよう映ったのでしょうか。中富小の学区はとても広く、見学に行くためにはたくさん歩きます。しかし今は、外を歩くことが健康的であり感染リスクの少ない活動となります。広大な畑や屋敷森、歴史的な寺社に、中富らしさ「ふるさと」を味わい

ながら。

三富開拓見学に、お客様も徐々に訪れるようになりました。近隣の小学校からも徒歩で子ども達が見学に来ます。嬉しさのあまり、都合が合えば私も他校の子ども達といっしょに屋上に上がるようにしています。屋上ですからマスクをすれば会話ができます。引率の先生方や子ども達と交流する楽しさを味わっています。人と人の交流の場、ここにも中富らしさが表れています。

先日、6年生が「三富おろし」を披露してくれました。新しい生活様式に従いながらの演奏会は、子ども達と教員が工夫に工夫を重ねて実現させたものでした。伝統を守り続けるという熱い想いは、どのような制限下でも、願いを実現させると感じました。「三富おろし」は、中富小まつりで保護者や地域の方に披露する準備がされています。ご協力いただいたPTA役員の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。「さあ、6年生の皆さん思いっきり演奏してください。ふるさと中富を感じてください。そして、たくましく生きると誓ってください。」いよいよ明日は、中富小まつりです。

## 検食のあとに

私は、ほとんど毎日検食という仕事をします。ですから給食の時間には、すでに自分の昼食は済んでいます。そこで昼食後は、いろいろな教室を見に行くことにしました。食事をする時の子ども達の顔はとても可愛らしいです。食事の時はマスクを外していますから、素顔を見ることができます。